

# 大学図書館問題研究会 京都

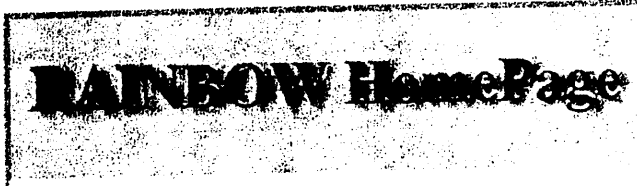
〒607 京都市山科区大宅山田町34  
(Tel) 075-574-4118

京都橘女子大学図書館 小林倫道気付  
(Fax) 075-574-4124

## 第4回 大学図書館員京都研究集会

RAINBOW (In Japanese)

<http://www.v.bkc.riisumei.ac.jp/rainbow/rainbow-j.html>



Ristumeikan Academic Information Network Bridging Our World

*Welcome to RAINBOW HomePage!*

- ☐ [RAINBOW施設\(京都・衣笠キャンパス\)のご紹介](#)
- ☐ [RAINBOW施設\(びわこ・くさつキャンパス\)のご紹介](#)

湖北地域経済交流セミナー  
[インターネット入門\(7/17\)第4回 大学図書館員京都研究集会\(1995.11.15\)](#)



京都支部は10月15日(日)、立命館大学びわこ・くさつキャンパスにおいて第4回大学図書館員京都研究集会を開催しました。「インターネット入門」と題された同研究集会に参加したのは40名。全員が端末の前に座って実際にインターネットを体験することができました。講師の津田圭司氏(立命館大学教育研究システム課)の準備のいきとどいた講義ときめ細かい実習指導により、「コンピュータアレルギーがなくなった」「楽しかった」などの感想がよせられています。実習内容は盛りだくさんで、時間一杯、密度もたつぷりでした。

本号では、参加者の感想文と画面のコピーで実習の一端をご紹介します。参加できなかった人、いやあ、残念でした!!。

## 感想・その1

大図研京都研究集会インターネット入門に参加して

池田 千恵子

立命館大学教育研究システム課の津田啓司氏により、ワークステーションを前にインターネットの講義と実習を受けました。講義のレジメはこの学習会のために作られたWWWのホームページ (WWW: <http://www.ritsumei.ac.jp:80/> - <http://www.bkc.ritsumei.ac.jp:80/rainbow-j.html> - これは当分あるそうです) を開けることによって、電子的に作成されたレジメにより、情報の検索と入手の練習をおこないながら講義が進められました。講義を聞きながら、インターネット上のいろいろな情報に触れて、ついつい、音声までだしたり、自分の興味のホームページに深入りしたりして、予想以上に時間がかかってしまい、時間切れで当初予定のホームページ作成にまでは至りませんでした。

周知のごとく今までと違って図書業務も紙と鉛筆だけでは効率的あるいは迅速に利用者に求める資料を提供していくには太刀打ちできなくなってきました。計算機の技術と能力の発展で、簡単にいながらにして手元から情報が入手できるようになってきており、そのためにも、いままでとは違う勉強もしなければならなくなってきました。

京都大学でも、大学主催のインターネット研修会には阪神大震災に関するWWWによる情報提供の影響もあって関心が強いためか、予想以上の参加者があり、最近では各職場でもホームページを作って情報発信をしているところが急速に増えてきています。わたくしも以前から、インターネットを利用して、テクニカルペーパーを直接相手のファイルから入手したり、電子メールで直接連絡をとったりといったことはしていたのですが、そろそろ自分も情報発信を試みようと思いたち、現在準備しているところです。

(WWW: [http://www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/srv1\\_kogaku/user/cikeda/library/home.htm](http://www.kogaku.kyoto-u.ac.jp/srv1_kogaku/user/cikeda/library/home.htm) を開けて見てください)。(いけだ・ちえこ/京都大学工学部図書室)

## 感想・その2

第4回大学図書館員京都研究集会「インターネット入門」に参加して

花本 ゆり

10月15日(日)、普段大図研の活動にあまり熱心でない私が、いつもより早起きをして珍しく今回の集會に参加した。実際に機械に触れることができるという言葉にひかれ、早々と申し込んだのだが、会場の立命館大学びわこ・くさつキャンパスに近づくにつれ、不安が大きくなってきた。「いつも、パソコンで一太郎や点訳をするときでさえ頼りないの

に、果たしてインターネットなんかさわれるのだろうか。」と。

案の定、インターネットをつなげるいちばん最初のところ、ログイン名とパスワードを入れる段階でパニックに陥りかけたが（パスワードは入力しても画面に表れないということをつっかり忘れていた）、隣の方にもいろいろ教えていただきながら、なんとか講師の方のお話についていくことができた。つながれば、あとは見たいところをマウスでクリックしていただけなので（途中、操作方法の説明の時など、戸惑ったときもあったが）、ホワイトハウスや浮世絵美術館などにつなぎ、休憩時間も美術館の絵やその説明を飽きずにながめていた。最後の方で、簡単なホームページを作成する実習をしたが、再び頭がパニックになり、できなかった（他にもできなかった人が多かったようなので安心したが）。

実際に自分の手でマウスを動かし、インターネットを体験したことで、今まで難しく近寄りた感じがしていたインターネットが、少し親しみやすくなったような気がする。細かい話まで理解できなかったとしても、画面を見て「わあ、絵がきれい」とか「音もこんなふうにして聞ける」と感動して帰ることが出来たのが、私にとっていちばんの収穫だったと思う。  
(はなもと・ゆり/大阪市立大学附属図書館)

Ritsumeikan University WWW Service

<http://www.bkc.ritsumei.ac.jp/>



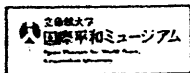
ようこそ立命館大学のHomePageへ

English

- Japanese Version (EUC kanji code) is here.
- Japanese Version (JIS kanji code) is here.
- Japanese Version (Shift JIS kanji code) is here.

立命館大学	新着情報	UBC RitsLab
京都・衣笠	びわこ・くまの	高等学校

RITS 他のWWWサーバー  
<海外提携大学・日本のサーバー一覧(MAP)・世界のサーバー一覧(MAP)>



国際平和ミュージアム



立命館大学スポーツ情報

図書館【衣笠】

ご意見・ご感想はE-Mailにてお願いします。E-mail to: [www-admin@ritsumei.ac.jp](mailto:www-admin@ritsumei.ac.jp)

## 感想・その3

## What's Internet?

秋山 哲史 &amp; 秋山 千奈美

- C: ねえねえ、インターネットってわかった？
- T: まだまだ、よくわからないな。
- C: そうね、あつという間に一日が過ぎて終わってみればインターネットとコンピュータの操作に振り回された感じがするわ。
- T: そうだね。講師の方はよく準備をしてくださっていたけど、もっとゆっくりやってみたかった。特に、メールを出してみたかったね。
- C: メールって言葉はよく耳にするから、ぜひ自分で出してみたかったし、もらいたかったな。
- T: ところで、ホームページにアクセスするのに時間がかかりすぎると思わなかった？
- C: そうね。でも専用ケーブルを引いていなければ仕方がないことじゃないのかしら。アクセスの記録を見たときも、京都大学を經由して学情センターにいて、それから目的のデータベースを探していたようだったけど……。
- T: 仕方がないのかもしれないけれど、でも、家でインターネットをやるとなるとあの待ち時間は嫌になるな。待つのは嫌いなタイプだし。
- C: これから通信技術がますます進歩して、もっと速くアクセス出来るようになるわよ。
- T: 早くそうなって欲しいな。それに機械の値段や通信にかかる費用も下がってくれるといいんだけどね。
- C: それは言えてる！今、コンピュータの世界はどんどん新しいものが出てきて、やっとなつたことを覚えたと思ったら、もうその時にはそれは時代遅れという時代なんだから。例えば、今回モザイクというソフトを使ってアクセスしたけど、最後に講師の方が、今はもっと新しいソフトでアクセスするっておっしゃっていたでしょう？この流れについていけない！困っちゃう。
- T: そのとおり。僕も仕事について行けなくてまいるよ。僕は今、汎用機を使っているんだけど、パソコンの方はさっぱりわからなくてね。
- C: 図書館の世界もどんどんコンピュータが入ってきているわ。今ではNACSIS-IRは参考業務には欠かせないものになっているもの。いずれ、インターネットもそうなるんでしょうね。コンピュータは苦手だなんて言ってらんない！
- T: でも、本当はコンピュータって、もっと人間にとって使いやすいものにならなければいけないな。使う側に知識が求められているようじゃ、まだまだだね。
- C: そうどすなー。

(あきやま・てつし/京都市役所情報化推進課)

(あきやま・ちなみ/京都橋女子大学図書館)

## インターネットの衝撃

自由な空間

政府、企業、個人などの特定の団体・組織の枠に縛られない共通の情報基盤。

サイバースペース

ネットワーク空間に現れた仮想的な共同体。W. ギブソンの1984年のSF小説ニューロマンサーで使われた言葉。

ネットワーク上で図書館にいたり、行政サービスを受けたり、買い物をしたり、他人とコミュニケーションをとったりと実社会と同様の活動がネットワーク上で営めるようになっていきます。

バーチャルコミュニティ

H. ラインゴールド氏の著書。

コンピュータネットワークが創る新しい社会のことで、ある一定数以上の人々が人間的な感情をもって、コンピュータネットワーク上で運営される共同社会を自指しています。実生活で開かれた交流スペースがどんどん少なくなっており、その代替としても注目されています。単にメディアを利用して、個人が影響を受けるだけではなく、多対多のコミュニケーションを可能にし、実社会とも相互に影響しあっています。政治的にはマスメディアの対抗勢力になりうる可能性が指摘あり、それにより形骸化している民主主義が再び活性化することが期待されています。ただ、ネットワーク上の犯罪防止を理由として、政府の規制(CDA、通信規制法)を模索する動きもあります。

### 感想・その4

インターネット研究集会に参加して

吉内 三和子

当日、草津駅で降りてしまったために、バスがなかなかこない。日曜日だからバスは少ないよ、というバスの運転手さんの助言にタクシーで立命館大学まで。ようやく時間ぎりぎりに着いて「間に合ってよかった・・・」とほっとしていたら、講義が始まる。パソコンを一人1台貸して頂いて、講師の方に操作の仕方をしていただき、それに添って各自操作し、インターネット(WWW)の世界へ、という聞こえはいいが、私は機械に弱いためなかなか講師の方の説明についていけない。勉強不足で、説明の中に出てくる、情報処理の専門用語がすぐに理解できないのである。例えば、インターネットのホームページにアクセスするのに時間がかかっている状態を『重い』という。感覚的にはわかるが、何だろう、と考えてしまえばそこで時間のロスが生じる。また、40人余りの人がいつせいに同じ情報にアクセスするため、少し遅れるとさきほどの『重い』状態になり、講師の方の説明におくれて画面が出てくる。当日のレジメがパソコンの中に入っているため画面が出ないと話にならない。「ああ、ついていってないな」とあせりながら、なんとか1日が終わった。

インターネットの感想をいえば、世界とつながっているのだなということを感じさせないくらい簡単に海外とも通信できることに後から驚く。使っている間は操作に夢中で、なかなかアクセスできないことにいらだつのだが、よく考えてみればマウスをクリックするだけで日本のホームページとアクセスするのと同様に海外へもつながるのだ。まるでTVの画面を見ているようであるが、確実に直接つながっている。便利ではあるがこの簡単さが、少し怖いようにも思える。全く違う価値観をもった人と同じ場でコミュニケーションするということもあるのだ。今までとは違う情報媒体に触れたような、そんな気持ちであった。こんなものを小学校から使ってる学生を相手に仕事をする日がくるのだ、と思うと(図書館での利用はまだまだのようであるが)、情報媒体のことにしても日本と世界をわけて考えることについても自分の意識改革を行なっていかなければならないと思った。

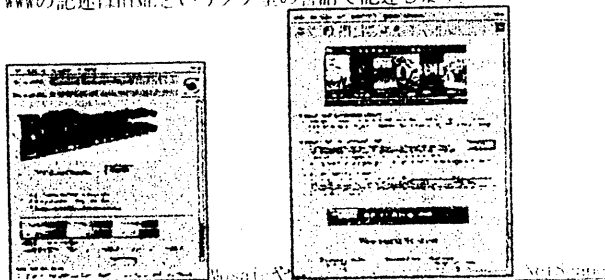
(よしうち・みわこ/PL短期大学図書館)

part4-1

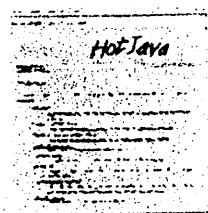
<http://www.bkc.ritsumei.ac.jp/rainbow/ke/v/media/part4-1.html>

## WWWとは

World Wide Webの略。分散した情報資源をあたかも1つの情報資源であるかのように扱える情報提供・検索システム。文字情報だけでなく、画像、音声データ、動画像データなどマルチメディア情報を扱うことができます。WWWの記述はHTMLというタグ型の言語で記述します。



などのブラウザを使用すれば、マウスオペレーションのみで情報を取り出すなどの操作ができるようになり、インターネットの裾野を広げることになりました。さらに表現力を高めたブラウザとして



hot.javaも現れています。

TOP MENU

目次	第4回大学図書館員京都研究集会 「インターネット入門」感想文特集 (池田千恵子・花本ゆり・秋山 哲史&千奈美・吉内三和子)
----	--